



20代の若者に日本酒の魅力を発信!

～「日本酒ビギナーフェス」を開催～

昨年12月14日に山梨県酒造協同組合（北原兵庫理事長 組合員14社）は、甲府駅前の元麻布ギャラリーにおいて「20代限定! 集まれ! 日本酒ビギナー山梨日本酒フェス」と題したイベントを初めて開催した。

組合では、平成29年から県内大学生の参加による、日本酒の魅力若者に知ってもらおう共同プロジェクトを立ち上げ、調査研究を行ってきた。地域資源である美味しい水で栽培された米で醸造し、伝統の技で



蔵人と直接会話を楽しむ若者達

育まれた日本酒を楽しんでもらうため、学生が同世代に向けたイベントの企画をし、県内8つの酒造メーカーの後継者らが協力して実施した。

当日は、社会人や大学生60名が参加し、飲みやすいスパークリング日本酒から純米大吟醸、日本酒ベースの果実酒など24本の飲み比べ

や、杜氏による日本酒セミナー、日本酒に合ったおつまみや酒粕等を活用したデザート14種類の試食を行うとともに、抽選で選ばれた5名の参加者が「鑑開き」を初体験した。

また、蔵ごとに山梨県原産地呼称日本酒認定酒「山の酒」の抽選会を行い、参加者にクリスマスプレゼントとして手渡した。参加者からは「手が出しにくいと思っていた日本酒を同年代と飲んで楽しかった。」「日本酒セミナーがとてもためになった。」「おつまみが美味しかった。レシピを教えて欲しい。」などの感想も聞かれ盛会であった。

イベント実施者のひとりである笹一酒造株式会社の天野専務は、「20代の多くの若者に日本酒への興味を持ってもらえたことが嬉しい。これからも若者を対象にしたイベントを継続し、山梨県産の日本酒の認知度を高めていきたい。」と抱負を語った。

山梨県酒造協同組合



杜氏による日本酒セミナー